

# ベッドメイキングや車いすの掃除の巧みにびっくり 夢を追いつづける吉川高等特別支援学校学習発表会

県立吉川高等特別支援学校学習発表会、「吉川ドリームフェスタ2015」が3日にありました。私は当日の午後から予定があつたので、午前のスマイルカフェと学習発表をしっかりと見ようと心に決めていました。

スマイルカフェは1年生の接客サービス訓練の場です。10時きつかりに3階の「喫茶店」に入ると、何と、私がお客の第1号じゃありませんか。正面にも右わきにも生徒がずらりと並んで「いらっしゃいませ」と一斉に挨拶し、迎えてくれました。

席はカウンターA席、これまでのスマイルカフェでは座ったことのない場所でした。しかも生徒たちがお客からの注文を伝える、それを確認する、コーヒー、ジュースなどを入れる、出上がりを告げる、こういった一連の仕事をお客として最も近い距離から見るここのでできる席でした。



私はホットコーヒーを注文し、ゆつくり味わいました。今年はずでに数回取り組んでいたのでしようが、気のせいかな、生徒たちはいつともよりも緊張している感じがしましたね。それでも、決められた流れの中でしつかりとやろうという生徒たちの気持ちはよく伝わってきて、気持ちの良い「喫茶店」になっていました。もう2、3回やったときに生徒たちの接客がどんなふうにならなうに変わっていくのか楽しみです。

コーヒーを飲み終わってからは、物流と福祉の学習成果発表を見てきました。物流はコンビニ、スーパーを想定した空間が作られていて、そこで生徒たちがラッピングなどの作業をしていました。中学校時代から付き合いのあるY君もがんばっていました。背中をぼんぼんとたたいて激励してきました。ここではPTA会長さんとも話ができました。

福祉の発表はベッドメイキングと車いすの掃除です。ベッドメイキングはベッドをきれいにする仕事です。1人の生徒が説明をし、2人の生徒が手順に従い、実際の作業を実演してくれました。単純作業のように思っていました。細かいところまで気を配らなければならぬですね。丁寧に仕事をすすめていて、仕事の流れもきれいでした。なるほどと思ったのはシーツの角をマットにたたみ込むところです。三角



【クサボタン】キンボウゲ科。漢字で「草牡丹」と書きます。木と草の中間の植物で、下の方は木、上部は草です。こういう植物を半低木といいます。初めて聞いたとき、びっくりしました。尾神岳にて撮りました。

を作り、それを下におりたたむとしわができない。これは私もやらせてもらいました。車いすの掃除は初めて見ました。バケツの上で雑巾を固くしぼり、椅子を押し手の部分や手回しのホイールなどをふいてきれいにしていました。スポークを歯ブラシを使って掃除するとは知りませんでした。

## 日本共産党上越地区委員会、来春の市議選で方針決定

日本共産党上越地区委員会はこのほど会議を開き、来春の上越市議選について協議しました。その結果、上野公悦、平良木哲也両市議とともに前職の私、橋爪法一も含め3人を擁立することを決めました。

阿部正義地区委員長代理は、今回の決定後、「来春の上越市議選は市民の命と暮らしを守るうえで極めて重要なたたかいであると同時に参院選の前哨戦ともなる。全力をあげてがんばりたい」とのべました。

市議選での主要施策については村山市政の行革路線で進められている市民負担増にストップをかける、箱物建設などでの無駄づかいをやめさせる、柏崎刈羽原発の再稼働にストップをかけるなどを検討し、現在、詰め作業を行っています。それらは市民のみならずの声を聞きした上で充実させていく考えです。詳しいところはまとも次第、発表します。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1727 2015.10.11

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三七五回 ヤマボウシジャム

ヤマボウシの実と初めて出会ったのは中学時代かと思えます。しばらく忘れていて、一〇年ほど前から、ふたたびこの実に関心を持つようになりました。でも、まさか、この実を使ってジャムを作れるとは……。

ジャムにできることを教えてくれたのは東村山市に住むH子さん。先日、尾神岳に高崎市の従姉（いとこ）とともに登った高校三年生です。Hさんは帰宅後、尾神岳で採ったヤマボウシの実でジャムを作り、出来上がったジャムの写真を送ってくれました。食べたことのある人ならお分かりだと思いますが、ヤマボウシの実は種だらけで、食べられる部分は少ししかありません。たいがいの方は食べることはあっても、ジャムまで作る気にはならないでしょう。でも、Hさんはジャム作りに挑戦したのです。

じつは一緒に尾神岳に登ったとき、Hさんはヤマボウシの実に強い関心を示していました。その日、足腰が痛いという従姉をパノラマハウス駐車場に残し、私とHさんは急な坂が続く遊歩道を歩き、展望台を目指しました。私は、その日の数日前に同じ道を歩いて下見をしておきました。この遊歩道にはヤマボウシやヤマブドウなどの実があり、野の花も咲いていました。私はそれらを楽しんでもらいたいと思ったのです。

「ほら、あそこを見てごらん」私は杖代わりに持参した測量用のポールで、ヤマボウシのあるところを指し、Hさんに教えました。おもしろいものですね、どうしたわけかヤマボウシの木は下見のときよりもたくさん見つかりました。あちこちにヤマボウシの実を見つけ、手にとった彼女の目は明らかに好奇心いっぱい目になっていました。

ヤマボウシの木は低いものが多くあり、手を伸ばせば届く高さにも実はけっこうなっていました。しかも、赤く熟れています。次々と枝を引っ張ってはもぎ、Hさんに手渡しました。たぶん、小さなボールの半分くらいは採れたと思います。この時、どんどん増えていく実を見て、Hさんはジャム作りをイメージしていたのでしようね。

食べられる秋の実としては、ヤマボウシのほか、ヤマブドウやサルナシがあります。その日は、下見の段階では見つけることができなくなったサルナシの実も発見しました。こちらは手に取って触ることができました。クサボタンやアキギリなどの花にも出会いました。Hさんにとつてはどれも初めてだったようで、食い入るように見ていました。

話を元に戻しましょう。Hさんが送ってくれたヤマボウシジャムの写真を見た私は、じつとしていられません。どんなジャムになるのか、この目で確かめたいなりました。もちろん味もです。写真を見た翌日、インターネットで見つけたイチゴのジャム作りについてのレシピを参考に、レモン、砂糖などを用意しました。ヤマボウシの実は近くの山の木から大きめのものを三〇個ほどもいできました。

採ってきたヤマボウシの実をよく洗い、スプーンを使って種を取り除きました。これに一番多くの時間がかかりました。そして一〇〇グラムの実に六〇グラムの割合で砂糖を入れ、電子レンジでぐるぐるあたため、三分間でチン。出来上がったものにレモン果汁を少々たらしました。表面にぶつぶつがあつて、美味しそうなものができました。

ヤマボウシジャムをパンにつけて食べたのは作った翌日です。種をきれいに取り除いたつもりだったので、やはり小さなものがいくつも残っていました。それでも、味は上々でした。Hさんに木の実の味や野の花をおぼえてもらい、楽しんでもらおうと思つた尾神岳散歩でしたが、ヤマボウシの実の食べ方を教えてもらうことになろうとは思つてもみませんでしたね。

## 第18回越後よしかわ酒まつり賑わう

昼は焼きおにぎりとトン汁ですませました。美味しかったです。

越後よしかわ酒まつりも18回目になりました。心配した雨も上がり、会場となった杜氏の郷周辺は賑わいました。

最初に訪れたきき酒会場がいつも

以上に賑わっているのにはびっくりでした。「よしかわ杜氏」など194銘柄が出され、訪れた人もいつもよりも多かった気がします。私の見ている前で早々と空になったのは、なんと、山口県のお酒、「獺祭（だっさい）」でした。どんなお酒なのでしょう。

杜氏の郷前広場には米や野菜、食べ物などを売るテントが並びました。いずれのテントにもぎわっていましたね。東京吉川会の人たちからは、「今朝の新聞折り込み見たよ、頑張っているね」「来月15日は東京へ必ず来てよ。みんな喜ぶから」と声をかけていただきました。お



### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	9月30日(水)	10月7日(水)
上越南消防署	0.047	0.043
上越北消防署	0.053	0.047
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.050	0.047
東頸消防署	0.043	0.046
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.053	0.053



### 本日、なくそテ原発柏崎集会

10月11日は午後1時から柏崎市海浜公園「夕陽のドーム」にて「なくそテ原発柏崎大集会」です。福島原発告訴団の武藤類子さんがメインスピーチを行い、制服向上委員会(写真)が反原発ソングを歌います。ぜひ、ご参加ください。